

公害発生許さぬ

改めて固め直した決意

問題を今後に残す

三井奉仕の都市計画と対決

社宅立退団交

三井奉仕は去る二十五日会社との間に団体交渉を開き、かねて問題化している四山社宅一部(A・B地区)立退きのことについて要求を突きつけ追及したが、ついに調印にまで達せず、問題を今後に残すこととなった。したがって三井奉仕は、これまで通り、日本列島改造計画一市のマスタープランにつながる独占奉仕の都市計画と対決する姿勢を崩さず、あくまでこの上ラッ素公害をまき散らすことにつながる三井アルミの増設反対の闘いをつらぬくこととなった。

二十五日の会社との団体交渉で、三井奉仕が三井アルミの増設に伴う四山社宅の立退き問題に関して会社側に提出した要求は、次の通りである。

- 対会社要求内容**
- (1) フッ化水素による公害は絶対許さぬ。
 - (2) 同アルミの第二期工事に当たって、地上系、天井系のフッ化水素排出濃度の影響および施設について事前に、アルミ社から詳細な説明を行なわせよ。
 - (3) 四山社の坑外・坑内にフッ化水素が侵入しないよう、二層借用
 - (4) 三井炭鉱の基本的な社宅対策を確立し、全舎を近代的な社宅とせよ。
 - (5) 撤去申入れの該当社宅の移転に伴う費用は、全額補償せよ。
 - (6) 移転に当たっては、全舎希望社宅に入居させよ。なお、二層借用



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 330334 兼
33034 兼
編集兼人 山下 開
発行所 半年間600円 送料共

おねがい
組合員・家族の皆さん、いよいよ重大な春闘がきました。大いにペンを取って下さい。

の希望者には、二層とも特別賃料を実施せよ。
(7) 住民の意見を無視した今後の撤去社宅の拡大については、絶対行わないよう確約せよ。
(8) 社宅内に鉱員および家族の安全を守るため、フッ化水素ガスおよび亜硫酸ガス測定器を適当な個所に設置せよ。
(9) さきのフッ素公害の被害補償を完全に行なえ。

会社の回答内容
右の要求に対して会社側は(3)については「前向きで検討する」。(4)については別途話し合いたい。(5)については五万円(二万円は各個人に、四万円は組合を通じ協力金として)支給する。(6)については可能な限り希望にそうが、二層借用は考えない。(7)についてはアルミ社と市の公費で考えている。(8)の被害補償額は二百万円(新労組員分は一千六十万円)支給することとしている。一を回答した。

だが、(1)の要求は市の公害課で行なうことになっていて、その必要は認められない。また(6)の項については「今現在は考えていないが、新しい事情が発生すればその時点で話し合うことにはしたい」と、きわめて問題の多い態度を変えなかった。

地場賃金ひき上げるゾ

大地評、春闘共闘を推進

大牟田地場賃金の引き上げ、一などの要求を掲げ、闘いを組むことになった。中には同盟組織下の単組なども含め、ほぼ十幾つかにもなる中立的組合を打って一丸となし得たことであろう。

不知火女子高校、大牟田市農協、大牟田自動車学校、県立高校事務職員、高校PTA職員、肥後相互銀行、西日本プラント、東京高級焙煎機、全運輸海運局三池分会、帝國酸業、福岡酸業、有明通信、鉄道弘済会、交通公社などの各組合がそれ、ことしの春闘はまず参加組合に大きな変りようが見られて心強い。

大牟田地場賃金加算組合の三十一組合として、手をきいて、大幅賃上げなどを全企業に働く労働者の期待が大きい「地場賃金の引き上げ」要求にむすんで、やがて

三月末に第一波

全国春闘共闘、戦術きまる

春闘共闘委員会は「足早に進む」(大牟田事務局長)七三春闘を前に、十六日の三役会議で去年春の戦術をきめた戦術を具体化し、あわせて三月二十九日にストライキをふくむ統一行動(春闘第一波)を行なうことをきめた。

それによると、①二三月段階に大量署名宣伝や国会傍聴、対政府・自治体・経営者団体交渉など制度・予算要求行動をもちあげ、②三月十一日に二〇万人規模の年金・物価メーデーをひらく。③三月二十九日には賃金闘争第一波突入組合を主体としてストライキをふくむ統一行動を組織する。そして四月中旬の年金スト、下旬のゼネスト状態へともりあげる方針。

豆ニユース
米復員兵に精神障害多し。P.V.S(ベトナム後遺症)というそうなの。
大統領は、戦争狂?

強めよう公害反対

過ぎない緑地帯設置を強行して行くことだろうが、このために事態はむしろ、公害反対闘争を強めるために一大決心を固めるべき段階に立たされたともいうことができる。

今後三井炭山は、三井アルミ社と結託してかねて計画していた通り、四山社宅の一部の立退き、アルミ社の増設、目先のごまかしに



宮川さんを、仲間の暖い連帯が包む。

宮川候補の当選を!

強くのぞむ街の声・声

荒尾市長選

荒尾市長選挙は、来月四日の投票を目指して激しく闘われている。三井炭山公認候補の宮川むつお元三井炭山組組長(55才、社会党)をはじめ、北川正勝(68才、無所属)、はやし止(53才、共産党)、鴻江勇(53才、無所属)、石田庫一(71才、無所属)以上の五人の争いとなつたが、前号の公約にもあるように、「大企業中心の市政を、住民中心・人間尊重の市政に流れをさせる」ため、せひとも宮川候補を当選させなければならぬが、さて次は宮川当選を強くのぞむ街の声である。

農業・荒尾市唐池区長 井上大作さん (六九才)

お話しになりません。どんなに市会議員や市長に頼んでも、見やもせず。それに防火用水はなく、水道の備えもありません。このような不便さが、もろもろ

で、区民全体ががんばっているんです。もちろん保守性の強い地域のことでも微妙な面もありますが、しかし他地区にない区民の決意と団結は、そんな弱点をきつと乗り越えてゆくと思えます。

職見・人柄すべて、宮川さんはまたとない人物で、区別の信賴度は大きく、せひ当選させたいとがんばっています。

私は電通荒尾で、線路宅内課という職場で、電話の修理、新設、移転などのためにそがしく、休むのはほんとうは心苦しいのです。それでも仲間と話して了解しても

私はこれまで、全電通の青年労働者として一度の専従もやった経験もないのですが、宮川さんを当選させるため一生懸命がんばってゆくつもりです。

荒尾に住む人間として第一に感じることは、道路が悪いということ。ただ、三井グリーンラン

熊本労働会支部 下河天龍さん (二六才)

三井炭山が赤字とか所得がないとかいって払っている市民税はたった五千六百円。私たちが払われている市民税は二万円。独占資本は国家の手厚い保護政策のおかげで、いろんな特別補償法の適用を受け、税金さえも負担せんでよいようになっているんです。道路ぐらひは、市民のためにも考え改善すべきです。

また、競馬場はデラックスなものになりました半面、一般市民が使う公営はどうかでしょう。お淋しい限りです。

とにかく、これまでの市政に対しては不満がいっぱい。なんとしてでも、宮川さんに当選してもらわなければと思っています。

田中梅松さん (五七才)

世の中から放つたらかされて、私たちが老人は、これまでの荒尾市政ではすがってゆく気も起りません。

これからは、老人対策を、自治体として真剣に取り組んでいってほしいと思います。そのためにせひ宮川さんを当選させなければいけません。カンパも出し、一票でも多くがんばってほしいです。